

地域福祉から多文化共生へ ～集住地域「知立市昭和地区」の事例から～



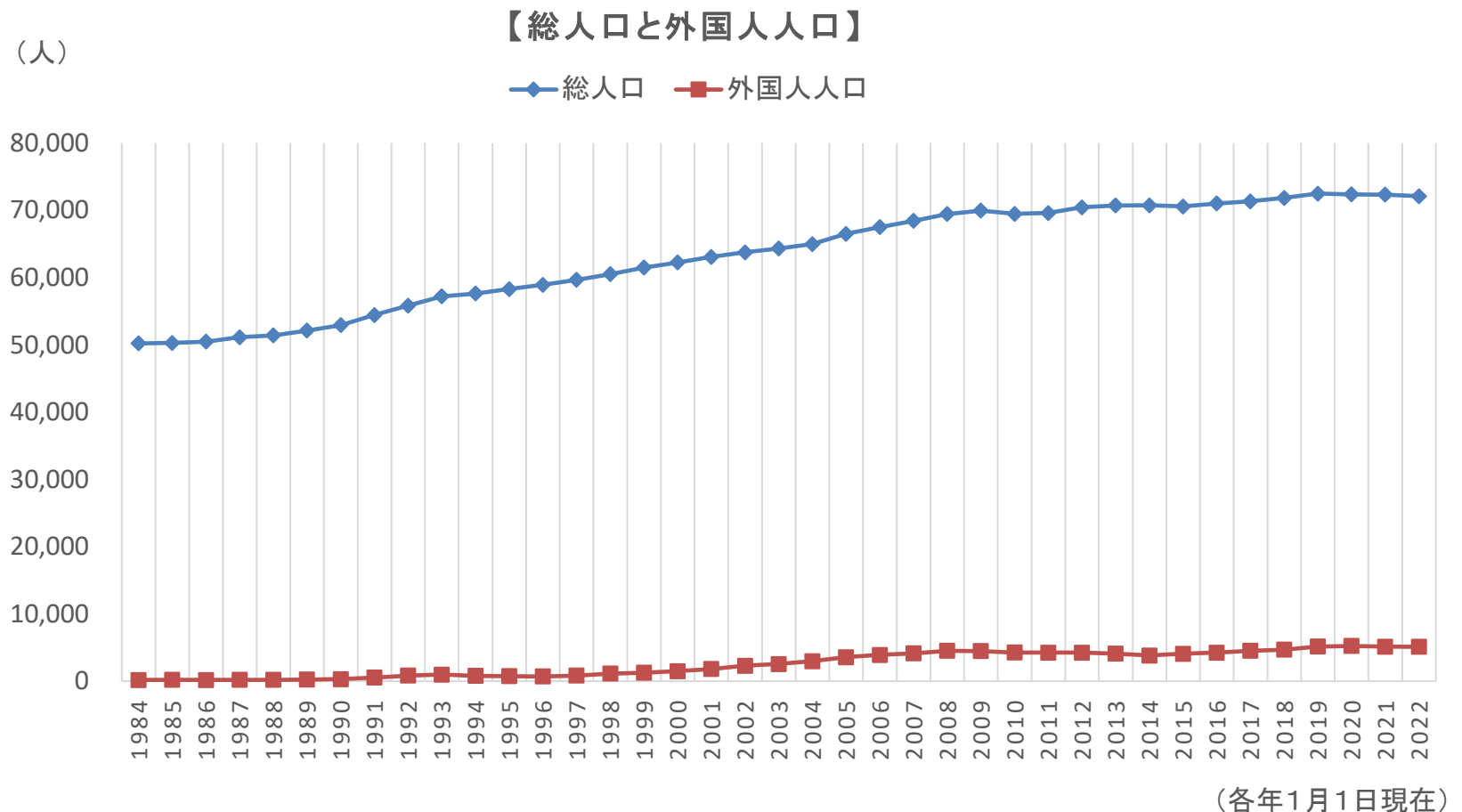
ちりゅう
【知立市 企画政策課 地方創生SDG s 係】
係長 佐藤浩二

知立市について

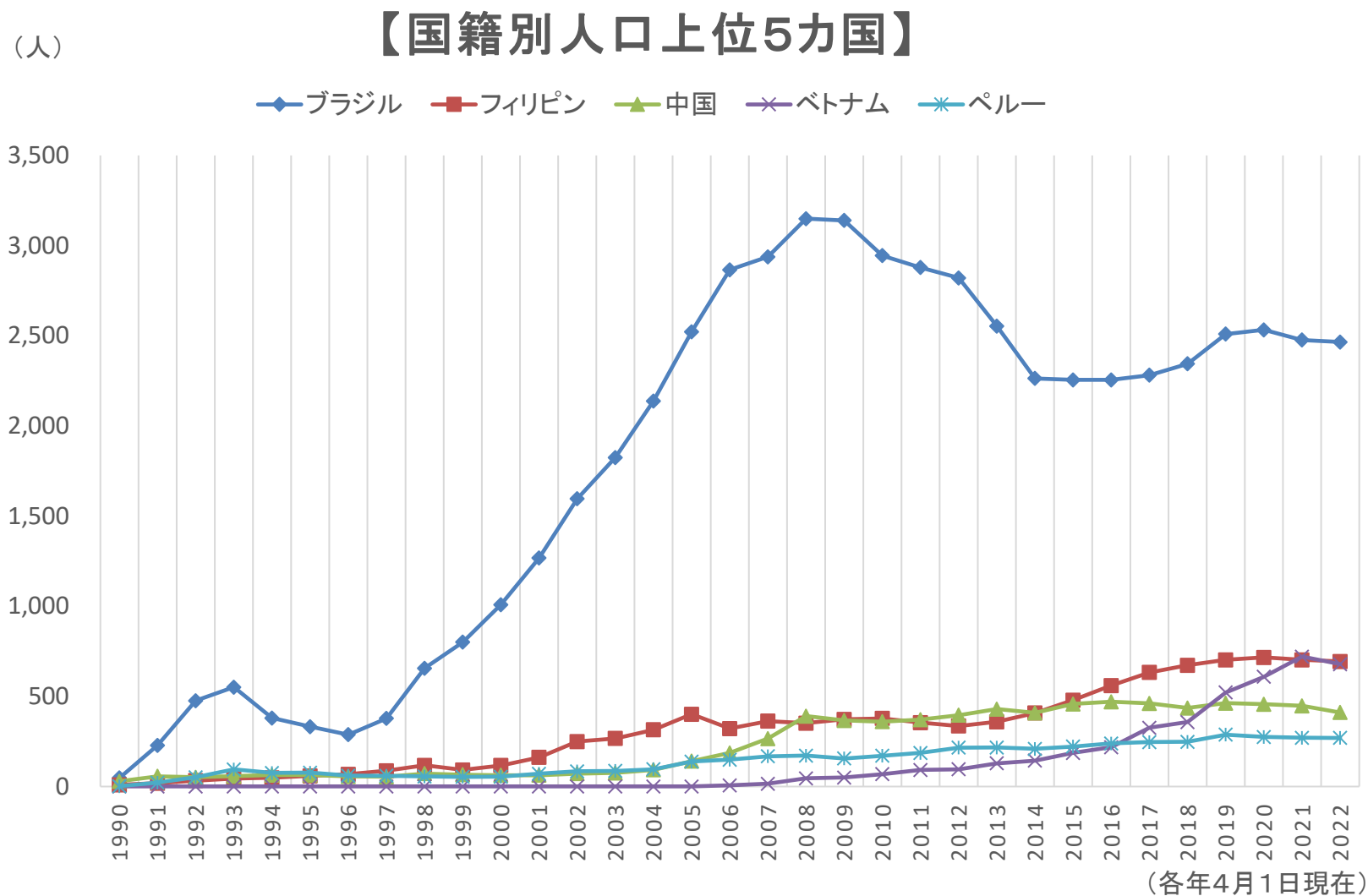
- 愛知県のほぼ中央部に位置
- 主要国・県道、名鉄本線・三河線が交差する交通の要衝



- 総人口72, 139人 内外国人5, 252人 (R4.12.1)
- 外国人比率 約7. 3% (県内上位)
- 自動車産業有する西三河又は名古屋市のベッドタウン
- 人口は増加傾向だが近年は特に外国人人口の増加率が高い



- 外国人人口の国籍別ではブラジルが約48%
- ベトナムが特に増加傾向



【知立市の多文化共生に関わる主な取り組み】

○多文化子育てサロン「みらいJr」

⇒外国人親子と日本人親子の交流、日本の文化体験、相談支援
(中日新聞記事)

○日本語学習支援補助金

⇒外国にルーツのある児童生徒への学習支援を行う団体に対する補助金交付
例) 放課後学習支援教室「みらい」(中日新聞記事)

○多文化共生センター「もやいこハウス」の設置

⇒知立団地商店街内に地域の交流に使える貸出施設を設置
活用例) 学習支援教室「みらい」、ギター教室「昭和☆みんなの音楽室♪」

○外国人相談員の設置

⇒ブラジル人の外国人相談員を市役所ともやいこハウスに配置

○学校での早期適応教室（日本語、習慣を学ぶ）・取り出し授業

⇒国語・算数を日本語レベルによって、こだま・ひかり・のぞみに分け実施
(知立東小学校 (中日新聞記事))

○多言語対応

⇒テレビ電話通訳、SNS、広報、ごみ出しカレンダー、防災ガイドブック

■知立市 地域福祉計画より

知立市の地域福祉の課題

孤独死

ひきこもり

児童虐待

ダブルケア

●支援を必要とする人が増加しています。

本市は比較的若い世代が多いですが、少子高齢化が進行しています。また、現代社会における福祉課題の多様化により、支援が必要な人が増加しています。

高齢化率^(12P参照)

H2年

H22年

H52年(推計)

7.9%

16.6%

27.6%

要支援・要介護認定者^(15P参照)

H23年

H27年

1,406人

1,896人

日本語教育が必要な児童生徒^(17P参照)

H23年

H27年

204人

292人

被生活保護世帯^(18P参照)

H21年

H27年

184人

392人

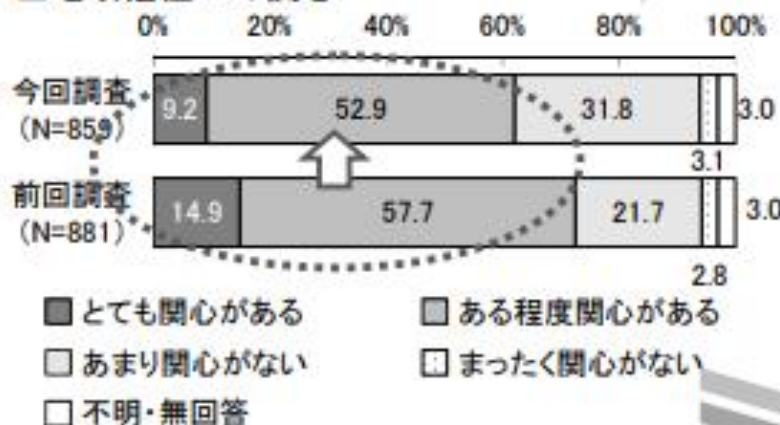
■知立市 地域福祉計画より

●地域力が低下しています。

アンケート結果によると、地域福祉に関心がある人は前回よりも減少しています。また、地域活動への参加も、『していない』という回答が多くなっています。

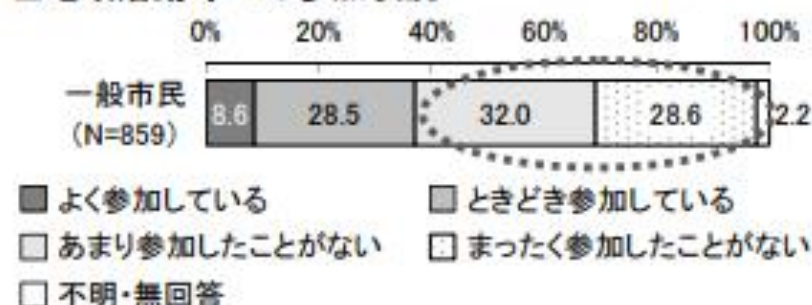
「とても関心がある」「ある程度関心がある」が前回よりも減少

■地域福祉への関心



「あまり参加した事がない」
「まったく参加したことがない」が多い

■地域活動等への参加状況



解 決 す る に は … ？

これらの課題解決のためには、行政サービスをより充実させればよいでしょうか？

しかし、財政的にも行政サービスの提供には限界があります。また、行政サービスに頼ることが、地域で自ら課題を解決し、地域力を高める機会を奪ってしまうことも懸念されます。

■知立市 地域福祉計画より

■重点プロジェクトのイメージ

同じ市内でも地域の特徴はさまざま！

若い親子が増えて
いるけど地域の
つながりはうすい



高齢者が多く
地域の行事が
盛ん！



自分の地域の現状や課題、
未来像をワークショップで共有

地域で交流できる
場所があるといいね



子どもが安心
して暮らせるまち
にしたいな

地域に住む人の視点で話しあおう

活動を実践！



行政や社協が情報提供や
課題解決のサポート



💡 期待できること

- 各地域における地域力の向上や地域コミュニティの活性化が期待されます！
- さまざまな分野で多様化する福祉課題に対して、一体的かつ横断的に取り組むことが可能となります！

★そして、「昭和未来会議」へ・・・



【知立市昭和地区】

- 外国人住民のうち約半数が知立団地を有する「昭和地区」に在住
- 「昭和地区」約6,300人の内、日本人の高齢化率約42%
- 「昭和地区」の外国人人口比率約44%（団地内は約65%）



★平成28年6月 昭和未来会議スタート！

■ 初回のテーマは「理想の昭和地区を考えよう」



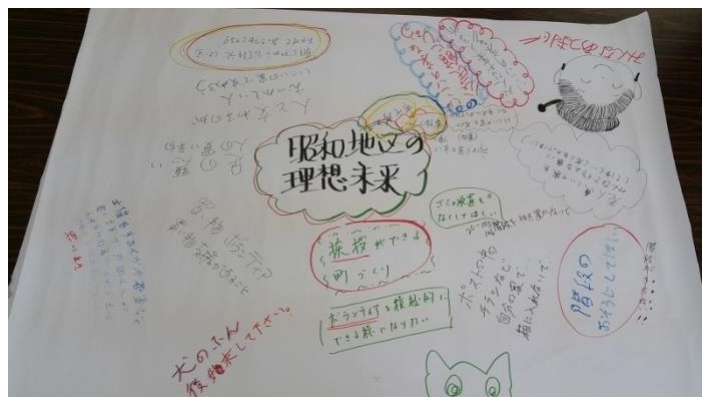
★平成28年6月 昭和未来会議スタート！

■ワールドカフェ方式のワークショップを開催

★質問(テーマ)設定がポイント

今回は「昭和の理想の未来」

- ・全員参加で機運づくり
- ・普段の会議とは違った雰囲気
- ・多様な意見を出す、聞く
- ・地域への認識を深める
- ・気づきを得る



★理想の昭和地区を考えよう

- ワールドカフェという手法で、「昭和地区の理想の未来」をテーマに意見をかわしました。この中で...
- それぞれの生き方、経験をもとにした
多様な考え方や価値観があることを共有しました。
- 一方で、昭和地区の多くの皆さんが共通で考えている課題と理想の未来が見えてきました。

★理想の昭和地区を考えよう

■昭和地区の多くの皆さんが共通で考えている「みんなの理想の未来」を、大きく分けて2つにまとめました。

① みんなが安心して暮らす昭和に！

（高齢者も外国籍住民も若者も子どもたちも）

② 若者にとって魅力ある昭和に！

（若者の定住移住が必要。まずは現在、昭和に暮らす若者の活躍が必要。地域の応援も必要）

★みんなの理想の未来に向けて 『やってみたいこと』を考えよう

■次に、『みんなの理想の未来』に向けて 「やってみたいこと」について
意見を出し合いました。

様々なアイデアが提言される中、意見の多かった4分野に絞って
話し合いが続き、それぞれアクションプロジェクトとして、取り組みが始まって
いきました。

<意見の多かった4分野>

イベント

交流の場

支援

PR

★アクションプロジェクト

【イベント】

★「昭和☆まもりんピック」の開催

【日常的な交流の場】

★「もやいこ農園」の開設

★「昭和☆みんなの音楽室 ♪」の開催

【支援が必要な人への対策】

★「昭和ケア会議」の設置

★「昭和☆認知笑劇団」の設立

【地域の魅力のPR】

★「昭和☆PRプロジェクト」の設立

★「昭和☆まもりんピック」開催



- ・防災運動会
- ・サッカー交流
- ・多国籍炊き出し
- ・防災講座 等





































水
白木

カミダシ

カニュー

日本語 カル

English curry

Português Caril

PR

4丁目 カル



ブラジル

フェイス

日本語

フェイス豆

English

Bear

Português

Feijão

PR

テロキ

					
(F-04411	(Z-04412	(Z-04413	(4-04	(100%	(100%
					
((	((	((			









































★「もやいこ農園」の開設



- ・外国野菜の栽培
- ・農作業での交流
- ・多国籍料理交流





















〈ミカワSDGs〉（62）パートナーシップで目標達成を もやいこ農園＝知立

2022年8月1日 05時05分 (8月1日 14時47分更新)

← 前の写真

1 / 2

次の写真 →



収穫したトウガンの調理法を話し合うディンさん（左から2人目）、佐藤さん（同3人目）ら＝知立市牛田町のもやいこ農園で

★「昭和☆みんなの音楽室♪」の開催

- ・無料のギター教室
- ・多国籍音楽交流
- ・多国籍バンド活動



★「昭和☆認知笑劇団」の設立



- ・認知症への理解を
広める
- ・笑いあり涙ありの
演劇
- ・関わる人がみんな
元気に



昭和☆
認知笑劇団

メンバー大募集!



認知症について、楽しく学ぶ機会を作るため、笑劇によって認知症を伝える、「昭和☆認知笑劇団」を立ち上げます!
「演劇が好きだからやってみよう!」「あんなに楽しかった、暇だから参加してみよう!」
「おしゃべりがいい、おしゃべりができる仲間を!」など、種々、種々、仲間を募集しています。
メンバーになってもいいよ!という方は下記のお問合せ先までご連絡ください!
みんなで楽しく、認知症への理解を広めて、誰もが暮らしやすい地域にしましょう!

お問合せ:
在宅介護支援センター ぽんぽくの里
電話 0566-85-2532



★「昭和ケア会議」の設置

- ・住民、行政、専門職の
連携会議
- ・要支援者の現状把握
- ・支援策の創出

★「昭和☆PRプロジェクト」の設立



Facebook
「昭和未来fb」



昭和未来会議

検索



- ・SNSでの昭和情報の発信
- ・住民記者「地域リポーター」
- ・ガイドブックの作成

Twitter
「昭和未来tweet」



<https://www.facebook.com/showamirai/>

<https://twitter.com/showamirai>

Instagram
「showamirai」



LINE
「昭和未来LINE」



<https://www.instagram.com/showamirai/>

<https://line.me/R/ti/p/%40reo9854p>

★「昭和☆PRプロジェクト」の設立



～みんなで楽しむ 地域のあれこれ～

サークル活動

U.S せせらぎの会

▶ 2011年発足。昭和4丁目と牛田町高根の間を流れる「せせらぎ」には鯉、金魚、メダカなどを飼育、放流し、側道花壇には四季折々の花を咲かせ、通園、通学の園児、児童や散歩する人々の目を楽しませるようボランティアたちが励んでいます。

★おススメポイント

・小径に咲く四季折々の花々や鯉、金魚、メダカなどが悠々と泳いでいる光景



◀主な情報▶

★開催時期

・原則として月2回（第1・3土曜日午後1時～3時）。ただしシーズンにより月1回。日常は会員全員が自主的に随時、作業を実施する。

★場所

・知立市牛田町高根と昭和4丁目の明治用水西高根緑道線300mの区間。

★参加方法

・事前の申し込みは不要。毎月第1・3土曜日午後1時に、牛田町高根の牛田南部公民館付近に集合。

★連絡先

事務局 水野 兼敏 ☎080-5105-1812

サークル活動

昭和ウォーキングの会

▶ 2005年成立。日帰りで岡崎、安城、刈谷など西三河、豊橋、田原、蒲郡などの東三河をはじめとして知多、尾張などの県内各地から各務ヶ原、大垣、岐阜などを踏破。次は三重、静岡にも足を伸ばしたい。

★おススメポイント

・入会費・年会費は不要。ただし参加者は役員の下見の交通費として1回に100円を負担。距離は10km前後。ほとんど平地。弁当持参。午後3時ごろ帰宅。



◀主な情報▶

★開催時期

・3～6月、10～12月の第1火曜日（年7回）。雨天は中止で順延なし。

★場所

・近隣各地

★参加方法

・参加方法事前の申し込みは不要。名鉄牛田駅南広場に午前8時50分集合、軽くウォーミングアップして名鉄で出発。参加資格はないが、現在の参加者の平均年齢は男女とも70歳代半ば。お子さんも可。

★連絡先

坂野上（さかのうえ）義 ☎81-3097





~Peru Volleyball Family ~

知立団地に住むペルーのツキアシ (TSUKIASHI) さんとアンゲレ (ANGELES) さんの家族、親戚の人々が、2年前から昭和2号公園で週1回土曜夕方、バレーボールの練習をしているという噂を聞きました。

そこで、私たちは、6月25日午後4時半、公園を訪れ、見学をさせていただきました。

中、高生から5歳までのみなさんが、本格的なネットを張り熱心にゲームを、楽しんでおられました。

バレーボールの他にサッカーやフットサルも別の会場でやっているとのこと。

仲良く団結力の強い、スポーツ大好きファミリー。

見習いたいですね。

【地域リポーター】高橋大吉

【協力】ホンナ アナ (昭和PRプロジェクトメンバー)

#知立市 #昭和地区 #愛知県 #知立団地 #バレーボール #ペルー



線が行われ、備蓄してあったアルファ米をおにきりにして、団地の住人に試食してもらったり、非常用飲料水を入れる6L用のビニール袋を配布。

6号公園では、東っ子まちづくりの会員が射的や輪投げなどでチビッ子を楽しませ、中央商店会も景品を贈り参加者に喜ばれました。

とくに外国籍の人々は仮面をかぶるなどいろいろな扮装で、会場が華やぎました。

【地域リポーター】高橋 大吉



会長は上野レアンドロさん（グランドマスター7段）で、15年前に教室を開設。現在、知立団地などに居住するブラジル、ペルー、日本などの少年少女（最年少4歳）やパパ、ママら約40人が参加。

熱気あふれる練習が繰り広げられていました。

指導者は上野会長や、中学生の時、全日本大会で2回優勝したタカノハシ エリキさん（24歳）ら3人。

少年少女たちは学校の宿題などもきちんと済ませ、テコンドーの練習でも、とても礼儀正しいと評判が良いそうです。

市役所企画政策課の佐藤係長や山本さんも見学。山本さんは皆と一緒に汗を流すとともに、得意な空手を披露し、喝采を傳えています。

問合せ先は上野さん（電話090-6642-8386）

【地域リポーター】高橋 大吉



★まとめ・ポイント

- 地域課題を発見し、それに取り組む人材を掘り起こす「仕組み」づくり
⇒福祉課題だけにこだわらない語り合いの場、出会いの場
- 小地域(小学校区)での集まり、取り組みを推進
⇒子どもから高齢者まで関わり合える、地域の話共感できる
隣近所の顔の見える関係、防犯、防災、子育て等すべてに好影響
- 「仕組み」だけでなく、職員の「動き」が必要
⇒若い世代への参加呼びかけ、外国人への声かけ、先進事例情報提供
- 地域に入っていけることこそ行政の強み(信用持ち)
⇒どこの馬の骨か分かる。団体や人がスムーズに会ってくれる
- 「つなぐ」意識。つながりこそ、支え合いの原点。
⇒一度つながりができれば波及していく。波及が多文化共生へもつながっていく



こんなシーンを

市内全小学校区で作っていったら

～ご清聴ありがとうございました～

